

調布市自殺対策計画(第2次)(素案)に対するパブリック・コメントの実施結果

【パブリック・コメント手続の実施概要】

1 意見募集の概要

- (1) 意見の募集期間 令和6年12月17日(水)～令和7年1月17日(金)
- (2) 周知方法 令和6年12月20日号市報及び市ホームページ, 市公式LINE, X
- (3) 資料の閲覧場所 文化会館たづくり西館4階健康推進課, 神代出張所, 公文書資料室, 各図書館(11館)・各公民館(3館)・各地域福祉センター(9館),
みんなの広場(たづくり11階), 教育会館, 市民活動支援センター(市民プラザあくろす2階)
- (4) 意見の提出方法 氏名, 住所, 御意見を記入し, 直接または郵送, FAX, Eメールで市役所健康推進課まで提出

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出件数: 3件(3人)

<提出意見の内訳>

- 全般に対する意見…………… 2件
- 第1章「自殺対策計画策定にあたって」に対する意見…………… 件
- 第2章「調布市における自殺の傾向」に対する意見…………… 件
- 第3章「計画の基本的な考え」に対する意見…………… 件
- 第4章「いのちを支える自殺対策における取組」に対する意見…………… 1件
- 第5章「自殺対策の推進体制」に対する意見…………… 件
- その他…………… 件
- (2) 意見の概要と意見に対する市の考え方

項目	No	御意見の概要	市の考え方
P.50「(3)市民のこころからだの健康づくりの推進」 P.54「(4)児童・生徒のこころの健康づくりの推進」	1	以下国立がん研究センターの資料が示すように、喫煙は自殺リスクを高めず。 https://epi.ncc.go.jp/jphc/7/68.html そのため、自殺対策においては、喫煙対策、すなわち未成年者の喫煙防止、喫煙者に対する禁煙支援、吸わせない環境の構築が極めて重要です。 したがって、P.50「(3)市民のこころからだの健康づくりの推進」やP.54「(4)児童・生徒のこころの健康づくりの推進」において、それぞれ自殺防止の観点で、喫煙対策について言及を頂きたいといたします。	生活習慣病の発症には生活習慣が深くかわっており、生活習慣の改善によって、病気の発症をある程度未然に防ぐことが可能であると考えられていますが、日本人のデータが不十分であることから、国立がん研究センターでは、どのような生活習慣が病気の発症に関連しているのか明らかであることを目的として、様々なコホート研究が実施されています。御意見をいただいた研究については、「中年期男性における喫煙と自殺の関連」としての研究結果が公表されています。それによると、「たばこを吸わない人に比べて、たばこを吸う人は30%自殺リスクが高い」という結果が得られます。また、この値は偶然に得られた可能性を否定できない結果であること、また「たばこを吸った総量が多い人や一日に吸う本数が多いほど自殺リスクが高い」という結果が得られていますが、研究対象は中年期の男性であり、また女性及び都市部の男性は対象外となっています。 この研究の考察として、たばこ自殺を結びつける具体的なメカニズムは分かっておらず、喫煙者で自殺のリスクが高い理由の一つとして、喫煙者はうつ病のリスクが高く、またうつ病自体が自殺の危険因子でもあるので、うつ病を介して自殺のリスクが高くなることが考えられますが、この研究では精神疾患に関する情報がなく、詳細な検討ができませんでした。喫煙とうつ病の関係は不明なことが多く、現段階では必ずしも確立された関係とは言えないと結論づけております。たばこ対策については、調布市みんなの健康・食育プラン(第4次)の基本施策のひとつとして、喫煙者の減少や受動喫煙防止に向けた取組を推進していきます。
全般	2	資料に目を通して見て、死の認識が無い思いつきで作った資料だと感じました。 (途中省略) 自殺者(自殺未遂者)は、悩んでいるときや、連絡出来ればそもそも自殺しません。本当に自殺する者は前兆をみせません。行動を開始し死亡まで数分で完結します。止めることは不可能です。	回答不要
全般	3	自殺する人はうつ病の人が多く、多摩川で日光浴した方がいいと思います。 多摩川をもっと日焼けスポットを増やしてください。 あとたき火も自殺防止につながると思います。 多摩川でたき火できるようにさせてください。	日光浴については、市内公園等で自由に実施していただけるほか、焚き火については、市が運営しているデイキャンプ場で、深大寺自然広場、通称かまど山という場所がありますが、こちらのかまどにて焚き火をしていただけます。

※御意見は、原則、いただいた原文を基に掲載しています。